# やまぐちユニセフ通信



No.16 2021年冬号 (発行》 山口県ユニセフ協会

for every child

## オミクロン株が猛威ふるうも学校閉鎖は最終手段であるべき

世界でのオミクロン株の感染拡大を受け、ユニセフ(国連児童基金)事務局長のヘンリエッタ・フォアは以下の声明を発表しました。 2021年12月17日ニューヨーク発

## ●猛威ふるうオミクロン株

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染者数は再び世界中で急増し、懸念すべき新たな変異株であるオミクロン株が感染拡大にますます拍車をかけ、公衆衛生の専門家や科学者がその詳細解明を急いでいます。 先行きが不透明な中、多くの政府は学校を開き続けるべきかどうかを検討しています。

しかし、一つだけ確かなことがあります。学校閉鎖がまた広がれば、子どもたちにとって悲惨な状況になるということです。

長期にわたる全国的な学校閉鎖、生徒・教師・保護者にとって限られた教育資源、遠隔学習へのアクセスの欠如は、教育における数十年もの進歩を帳消しにし、子どもたちから子ども時代を奪っていること、そして児童労働、児童婚、メンタルヘルスの問題が影を落としていることは明らかです。

子どもたちは学習の機会を失っただけではなく、学校という安全な場所、友人との日常的な交流、保健ケアへのアクセス、そして多くの場合、一日の中で唯一の栄養ある食事までも失いました。この世代の子どもたちが失った、生涯で得ることができたはずの収入は、合計17兆米ドルにものぼる可能性があります。



© UNICEF/UN0527763/Satu

COVID-19の影響で未就学児向けの施設が一時的に閉鎖されたため、 自宅を訪れたボランティアに教わりながら学習をすすめる4歳のスマイヤ ちゃん。(バングラデシュ、2021年8月撮影)

## ●休校は最終手段

そのため、全国的な学校閉鎖は、可能な限り避けなければならないのです。COVID-19の地域感染が拡大し、厳しい公衆衛生対策が必要になった場合にも、学校は最後に閉鎖され、そして最初に再開される場所でなければなりません。

学校での感染症予防対策が有効であることは分かっています。私たちはこの知識を利用しつつ、学校を継続するためにできることをすべて行う必要があります。また、デジタル接続への投資を増やし、子どもたちが誰ひとり取り残されないようにすることも必要です。

2022年までも、子どもたちの学習が中断される年になってはなりません。教育、そして子どもたちの最善の利益が優先される年にしなければなりません。

## 新型コロナウイルス緊急募金

紛争や貧困などにより、以前から医療体制が脆弱な途上国において命の危険にさらされている子どもたちを最優先に、新型コロナウイルス感染拡大に対応するユニセフの活動に役立てられます。なお、本緊急募金にお寄せいただいたご寄付につきましては、日本を含む先進国は支援対象といたしません。

●全国の郵便局(ゆうちょ銀行)窓口から お振込みできます。

振替口座:00190-5-31000

口座名義:公益財団法人 日本ユニセフ協会

\*通信欄に「コロナ」と明記ください。

\*窓口でのお振込は、送金手数料が免除されます。

## 山口県ユニセフ協会

## 活動紹介

●秋口から新型コロナウイルス感染が少し鎮静化したこともあり、 感染防止対策を考慮したパネル展中心の活動だけでなく、学習 会や参加型イベントなど、感染止対策をおこないながら様々な 活動に取り組みました。

## ♥ラブ・ウォークを開催しました!

### ○今年2回目となるラス・ウォークinときわ公園(秋バージョン)を開催しました。

·開催日:11月6日(土)

- ・春の参加者から好評だった宇部市ときわ公園湖畔周回コースでのラヴウォーク。秋の紅葉を観ながらまた歩こう!ということで今年2回目の開催となりました。
- ・参加者20名。秋晴れとはいかず曇り空でしたが歩くには適温で、公園に 様々展示してある彫刻を名前から探すクイズもあり、6kmのコースを 楽しく歩くことが出来ました。









## ●各地でユニセフパネル展を開催しました!

●県内各市町で開催しているパネル展。できるかぎり多くの方に世界の子どもたちの状況やユニセフの取り組みを知っていただこうと、これまで未開催の市町を中心に調整をおこない、開催することができました。

### ○山陽小野田市高千州公民館でパネル展を開催しました。

- 開催日: 11月22日(月)~11月29日(月)
- 「ユニセフってなあに?」のパネル展および「ブルキナファソ写真展」を おこないました。
- ・公民館活動の盛んな地域で、子どもたちの放課後の集いの場にもなっており、子どもたちと使用される多くの近隣住民の方に見ていただくことができました。



### ●平生町まち・むら地域交流センターでパネル展を開催しました。

- 開催日:12月17日(金)~12月23日(木)
- 「ユニセフってなあに?」のパネル展をおこないました。
- ・平生町と相談の上、地域の皆さんの集いの場になっている地域交流センターでの開催となりました。センター職員の方も協力的で、玄関横の見やすい場所で展示することができました。



## ●ユニセフ学習会を開催しました!

### ○コープやまぐち中部地域山手コープ委員の皆さんとユニセフ学習会をおこないました。

開催日:10月14日(木)



- ・世界の子どもたちの現状を知りたいとの要請で、インドの紙袋作りのワーク ショップを開きました。
- ・インドにおける児童労働のひとつである紙袋作りを実際に体験していただく ことで、僅かな収入のために如何に子どもたちの貴重な学習機会や遊びの時間を奪っているかを感じていただきました。
- ・参加者は6名。子育て世代の方ばかりで、今日の学習で感じたことを子どもたちにも伝えたいとの感想をいただきました。

### ○コープやまぐち周東地域平和ネットの皆さんとユニセフ学習会をおこないました。

· 開催日: 10月23日(土)



- 2019年の春に県協会事務局が訪問したアフリカの「ブルキナファソ」視察 の話が聴きたいとの要請があり、報告会をおこないました。
- アフリカの貧困国、紛争国での子どもたちの状況とその中でユニセフがどの ような支援活動を行っているかについて理解を深めてもらうことができたと 思います。
- ・参加者は19名。柳井市内での開催でしたが、下松市・周南市からも参加いただきました。

## ●ユニセフクリスマス会を開催しました!



### ○昨年・一昨年の山口市から場所を変え、今年は宇部市でユニセフクリスマス会を開催しました。

• 開催日: 12月11日(土)

- 例年好評のクリスマスリース作りと、世界の子どもたちの現状およびユニセフの活動を 伝えるDVD上映をおこないました。
- ・参加人数は、29名(大人14名、子ども15名)でした。
- ・リース作りがとても楽しかったと好評でしたし、DVDを大人も子どもも真剣に見てもら うことができました。
- ・なお参加費は全てをユニセフ募金としました。

## ●ユニセフ・キャラバン・キャンペーンに参加しました!

### ○日本ユニセフ協会学校事業部主催のキャンペーンに県協会も参加・応援しました。

- 開催日: 11月11日(木)、12日(金)
- ・教職員と子どもたちにユニセフの活動を伝える目的で、各都道府県で4年に1回開催される日本ユニセフ協会学校事業部主催のユニセフ・キャラバン・キャンペーン。
- ・山口県は昨年開催予定でしたがコロナ禍により今年に延期。今年も東京・山口をつなぐリモート開催となりましたが、 無事終えることができました。山口県ユニセフ協会メンバーも又とない学習機会のため参加・応援をおこないました。
- 11日午前はオンラインによる山口県副知事・山口県教育長それぞれと日本ユニセフ協会専務理事とのメッセージ交換、午後からは県下教職員対象のオンライン研修会があり、県協会事務局も参加し県ユニセフ協会のPRを行いました。.
- 12日午前が岩国市立麻里布中学校、午後は下関市立王江小学校でユニセフ出前授業が行われ、アシスタントとして県協会事務局もそれぞれの学校にいき、子どもたちの感想を直接聞くことができました。







### 山口県ユニセフ協会の

## 今からの予定

●現在国内・県内における新型コロナ感染は落ち着きを取り戻していますが、感染力が強いといわれるオミクロン株の国内感染が確認されるなど、予断を許さない状況のため、イベントの開催日時のご案内は1ヵ月程度前におこなう予定です。

## ●映画観賞会予定

●開催日:2022年3月開催予定(開催日時の確定は2月中旬ごろ予定) \* 開催日・時間が決まりましたら、ホームページ等でご案内りにします。

●場 所:山口県立図書館(レクチャールーム) 山口市後河原150-1

## ●上 喚:「風をつかまえた少年」

\*23ヵ国で翻訳され世界を感動に包んだベストセラーの映画化。

\*当時人口の2%しか電気を使うことができなかったアフリカのマラサイで、14歳の少年が自分の頭脳と手だけを頼りに発電に成功し、家族と村の人々を救うとともに、その後の自らの人生をも切り開いた奇跡の実話に基づく物語です。

\*ひたむきな姿が学ぶことの大切さを伝えてくれます。





### ※ロビーにて「ユニセフ・パネル展」を同時開催

### \*新型コロナウイルス感染防止にご協力ください!

- 当日は検温をおこないます。
- マスク着用でご参加ください。
- アルコール(事務局用意)消毒をお願いします。

## ●「海外協力隊体験談」を聴く会予定

●開催日:2022年3月開催予定(開催日時の確定は2月中旬ごろ予定)

●場 所:未定(山口市内を予定)

●企 画:海外協力隊としてアフリカケニアへ派遣経験のある

小川真奈さん(現山口県JICAデスク国際協力推進員)による現地の暮しや活動の紹介

\*ケニア料理の試食ができるかも!



小川真奈さん

### 賛助会員募集してきす!

日本ユニセフ協会と各協定地域組織の活動を賛助 会費によって支援いただく方法です。

現在山口県でも多くの賛助会員の方にご協力いただいています。

山口から世界の子どもたちを支えましょう!

種類	対 象	質助会費	
一般贊助会員	個人		5,000円
学生贊助会員	学生(18歳以上)		2,000円
団体賛助会員	団体、法人、企業	-0	100,000円

賛助会員期間は、入会月より1年間です。賛助会費は 寄付金控除の対象になります。

一般・学生賛助会員は個人名でのお申込みに限らせて いただきます。

## いつでもボランティア大歓迎!!

ユニセフや世界の子どもたちに関心のある方はもちろん あなたの好きなことをユニセフ活動にいかして みませんか?

♪絵や文章を書くのが好きな方♪子どもがすきな方♪手作りするのが好きな方♪パソコンが得意な方

**♪学習会の組み立てを一緒に考えてくれる方** 

などなど



### 山口県ユニセフ協会

〒753-0083 山口市後河原210番地 TEL083-902-2266 FAX083-928-5416

E-mail:info@unicef-yamaguchi.jp URL:https://www.unicef-yamaguchi.jp

## 

ボランティア登録、資料請求、その他 お問い合わせ等は、事務局までご連絡 ください。

また、どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

受付日 : 月・火・水・木・金 受付時間: 10:00~16:00 山口県教育会館の裏になります。